

1 東京都中央卸売市場(平成24年1～8月計)の青果物取扱高について

①全体の入荷量は130万5千トン(前年比102%, 平年比98%), 金額は3,410億円(前年比105%, 平年比101%)となった。

(数量の内訳は野菜102万9千トン, 果実27万6千トン。前年同期比で野菜2%増, 果実増減なし。平年同期比で野菜1%増, 果実10%減。)

(金額の内訳は野菜2,393億円, 果実1,017億円。前年同期比で野菜7%増, 果実2%増。平年同期比で野菜3%増, 果実3%減。)

②茨城産の入荷量は14万2千トン(前年比98%, 平年比97%), 金額は324億円(前年比105%, 平年比93%)となった。

(数量の内訳は野菜12万6千トン, 果実1万6千トン。前年同期比で野菜1%減, 果実4%減。平年同期比で野菜1%減, 果実14%減。)

(金額の内訳は野菜263億円, 果実61億円。前年同期比で野菜8%増, 果実6%減。平年同期比で野菜6%減, 果実14%減。)

③千葉産の入荷量は15万8千トン(前年比102%, 平年比97%), 金額は307億円(前年比109%増, 平年比101%)となった。

(数量の内訳は野菜14万5千トン, 果実1万2千トン。前年同期比で野菜2%増, 果実2%増。平年同期比で野菜3%減, 果実13%減。)

(金額の内訳は野菜277億円, 果実31億円。前年同期比で野菜11%増, 果実7%減。平年同期比で野菜3%増, 果実14%減。)

単位:t, 百万円, %

		市場計			茨城			千葉		
		1～8月計	年間計	年間比	1～8月計	年間計	年間比	1～8月計	年間計	年間比
数量	H24	<b>1,305,193</b>			<b>142,057</b>	←シェア(10.9%)		<b>157,541</b>	←シェア(12.1%)	
	H23	1,282,003	1,997,256	64.2	144,667	224,546	64.4	154,760	230,938	67.0
	前年比	101.8			98.2			101.8		
	平年値※	1,328,811	2,072,420	64.1	146,443	232,790	62.9	163,054	240,166	67.9
	平年比	98.2			97.0			96.6		
金額	H24	<b>341,015</b>			<b>32,445</b>	←シェア(9.5%)		<b>30,725</b>	←シェア(9.0%)	
	H23	323,733	494,637	65.4	30,835	45,751	67.4	28,254	40,778	69.3
	前年比	105.3			105.2			108.7		
	平年値※	337,191	508,963	66.3	35,011	51,564	67.9	30,486	43,220	70.5
	平年比	101.1			92.7			100.8		

※平年値は平成18～22年の5ヵ年平均です。

【参考】 茨城県 : 金額シェア(9.2%) , 数量シェア(11.2%)  
平成23年実績 千葉県 : 金額シェア(8.2%) , 数量シェア(11.6%)

## 2 東京都中央卸売市場(平成24年8月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

野菜類の入荷量は8千4百トン(前年比105%, 平年比105%), 単価は215円/kg(前年比82%, 平年比67%), 果実の入荷量は2千3百トン(前年比97%, 平年比84%), 単価は327円/kg(前年比103%, 平年比101%)。

単位:t, 千円, 円/kg, %

	品目	数量			金額			単価			
			前年比	平年比		前年比	平年比		前年比	平年比	全国平年比
野菜	ねぎ	1,776	112.8	121.2	308,150	74.5	76.7	173	65.8	63.1	71.4
	れんこん	388	82.5	99.6	190,521	88.5	92.2	492	107.4	92.7	94.8
	みず菜	491	111.9	95.4	151,196	107.4	74.1	308	96.0	77.6	78.7
	なす	706	99.1	82.9	93,017	56.0	63.5	132	56.7	76.7	72.0
	にら	212	99.5	92.1	85,610	117.7	89.0	404	118.1	96.7	100.7
	<b>野菜類計</b>	<b>8,437</b>	<b>105.1</b>	<b>104.5</b>	<b>1,811,540</b>	<b>85.9</b>	<b>69.5</b>	<b>215</b>	<b>81.8</b>	<b>66.5</b>	<b>58.4</b>
果実	日本なし類	1,908	92.9	79.8	644,725	98.6	83.5	338	106.1	104.6	110.4
	<b>果実類計</b>	<b>2,320</b>	<b>97.3</b>	<b>84.0</b>	<b>758,552</b>	<b>100.4</b>	<b>84.5</b>	<b>327</b>	<b>103.2</b>	<b>100.6</b>	<b>104.7</b>

・ねぎ: 昨年の単価は東北産が干ばつの影響で数量が少なかったため平年以上であったが、今年は8月から順調に出てきたため、終盤産地の茨城産は特に単価が平年より下回った(平年比63%)。

茨城の数量は生育が順調で平年より多い出荷(平年比121%)となったが、単価安から金額減(平年比77%)となっている。

・れんこん: 例年の8月であると茨城産が95%を占めているが、今年は関東産と同じ「金澄」系を作っている九州産が作付を増やしてシェアをあげており、市場全体の数量も増えている(平年比106%)

茨城県の数量は平年並み(平年比100%)であったが、単価がやや減(平年比93%)であったため金額もやや減(92%)となっている。

・みず菜: 消費が落ちている中で、数量はほぼ平年並みにあったことから単価は平年より大幅に下回った(平年比78%)。

単価安のため金額減(平年比74%)になっている。

・なす: 茨城の数量は肥大が遅れ平年より大幅減(平年比83%)となったが、栃木、群馬が順調で市場全体では平年並み(平年比102%)となっている。

高温が続く、加熱調理する野菜は引き合いが弱まり単価は平年を下回ったことから(平年比77%), 数量減の単価安で金額の大幅減(平年比64%)となっている。

・にら: 茨城の数量は高温干ばつの影響で平年より減となっている(平年比92%)。

単価は平年をやや下回り(平年比97%), 数量減により金額減(平年比89%)となっている。

・日本なし類: 茨城の数量は栽培面積の減少で平年を下回っている(平年比80%)。

単価は平年よりやや高いが(平年比105%), 数量減が大きく金額減(平年比84%)となっている。